

放送大学 での一般情報教育

辰己 丈夫 (たつみ たけお)



2019年12月14日 AXIES2019年次大会

1 放送大学は

どんな大学か？

1.1 授業の形態は以下の3つ

- 放送授業 (テレビ・ラジオ)
 - 学生へはネット配信
 - 試験は学習センター (後述)
- オンライン授業
- 面接授業 (スクーリング)

1.2 担当講師

- 放送授業：専任教員と、客員教員
- 面接授業：客員教員と、専任教員

1.3 放送大学の教員

- 学部は教養学部のみ、専任は全部で80名
 - 情報コースは20名
- 客員・分担はたくさん！！！！
 - 放送授業の担当
 - 面接授業 (スクーリング) の担当

1.4 設備と組織

- 学習センター・サテライトは54箇所
- すべての都道府県に1箇所ある
- 東京だけ4箇所
- PC教室の設計だけでクラクラする

1.5 入試がない

- 学部と修士専科生は入試なし

- 面接授業以外は、スケールメリットがある
- 実際は試験を受ける会場の問題もある

1.6 学部生数ランキング (2018年時点)

とあるサイトに出ていた……

- 1位：日本大学 (68,069)
- 2位：早稲田大学 (41,051)
- 3位：近畿大学 (33,614)
- 4位：立命館大学 (32,600)
- 5位：東洋大学 (31,019)

1.7 放送大学

- 学年定員

	学部	修士	博士
全科	15,000	500	10
単科・選科	60,000	11,000	0

- 実際は8万人ちょっと→現時点で日本最大
- LMS や学務システムだけでもクラクラする

1.8 全科生

- 卒業を目指す
- 10年在学可能
- すべてのコース (学科) を卒業するひとも

1.9 単科・専科生

- 連携大学の学生 (放送大学の単位を認定)

- 既に学士を持っている人の職業訓練的内容
- 60代より上の方で卒業を目指さない
- 図：最近の放送大学

1.10 放送大学は放送局を持っていた

- 現在：BS2波 → NHKに委託、radiko
- 過去：関東地デジ、FM
- もっと昔は、
関東UHF、SkyPerfecTVで配信

1.11 学生の年齢層のボリュームゾーン 情報コース以外

40代から70代

情報コース

20代から60代

1.12 単位認定と卒業

- 多くの放送授業は、
マークシート5択10問から20問程度
 - 単位認定試験に査読がある
 - 授業によっては1,500人/半期受験
- 多くの面接授業は、全部出席していると単位が付く傾向
 - 卒業するなら、面接授業20単位から40単位

2 放送大学の 一般情報教育

2.1 学生のボリュームゾーンごとに 情報コース以外

まさに一般情報教育

情報コース

専門教育を志向した一般情報教育

2.2 単科・専科生の構成 (again)

- 連携大学の学生（放送大学の単位を認定）
- 既に学士を持っている人の職業訓練的内容

- 60代より上の方で卒業を目指さない
 - 授業内容の前提を立てにくい
 - 体系的な教育課程になりにくい

2.3 授業の構成

- 基盤科目
 - どのコースの学生も受講できる
- コース科目
 - 導入科目・専門科目・総合科目
 - ひとつの授業のなかで、入門的な内容から、高度な内容へのストーリー展開になっている

2.4 放送大学の一般情報教育

- 放送授業では、基盤科目でやるしかない
 - 「遠隔学習のためのパソコン活用」('17)
- 面接授業（スクーリング）でも対応
 - 「初歩からのパソコン」（各学習センター）

2.5 遠隔学習のためのパソコン活用

放送大学の学生が家や職場から学習するうえで役立つパソコンの活用方法を基礎から学ぶ。パソコンの基本操作について学んだのち、放送大学が提供する学内情報通信システムを活用するために必要な技法について学ぶ。その後、学生がパソコンソフトを駆使して文献を検索し、表計算ソフトを用いて図表を作成し、文書作成ソフトでレポートを作成し、最後にプレゼンテーションソフトを用いてプレゼンテーションをできるようにする。主体的な取り組みを行い、自分の学習について振り返りを行うことで、遠隔学習者として必要な素養を身につけることを目指す。

2.6 各回の概要

- 1: パソコンの基本操作
- 2: インターネットのしくみとWebの

活用

- 3: インターネットを利用した学習
- 4: 電子メールのしくみと利用
- 5: セキュリティと情報倫理
- 6: ソーシャルネットワークと学び
- 7: 図書館の利用方法
- 8: 電子情報源の利用方法
- 9: 表計算の基本
- 10: 図表作成の技法
- 11: 文書作成の基本
- 12: 文書作成の技法
- 13: プレゼンテーションの基本
- 14: プレゼンテーションの技法
- 15: パソコンを今後の学習にどう生かすか

2.7 遠隔学習のためのパソコン活用

- 2012年収録、2013年から放送
- 2016年収録、2017年から放送
- 2020年収録、2021年から放送

内容を、どんどんアップデート

3 これでもいいのか？

改訂の方向

3.1 授業は4年間から10年間の再放送

- 一斉改訂ができない
- 一部ずつの改訂

3.2 授業の形態、今後増える予定

- 正課の授業
 - 教科書だけの授業（大学院）
 - テレビでは放送しないビデオ授業
- 正課以外の授業（後述）

3.3 入学の動機の変化

- 放送大学で初めての学士学位
- 既に学士持ち
- 働きながら修士・博士

3.4 Micro Credentials

- 1単位や、0.5単位の授業
- 組み合わせて単位を構築
- 他大学の学生への連携教育へ提供

3.5 BS テレビ 2波になった

- 正課の授業以外の内容も入れられるようになった
- エクステンションセンター的「講義」の展開

3.6 BS テレビ 2波になった

- BS231ch : 「BS キャンパス ex」 (HD)
 - 単位取得を目指さない「講義」
- BS232ch : 「BS キャンパス on」 (SD+)
 - 単位取得を目指す「授業」

3.7 Micro Credentials を前提とした授業

- エクステンションセンター的講義の単位化
- 一般情報教育の内容を、細かく分けることも視野
 - パソコン基本操作 0.4単位
 - オフィスソフト 0.4単位
 - 制作活動 0.4単位
 - セキュリティと著作権 0.4単位
 - 図書館などの利用 0.4単位

3.8 学生のための ICT 整備

- 遠隔での単位認定試験
- デジタルバッジ
ブロックチェーンを利用した修了証